

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」金沢横川校

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			支援の組み合わせ、こどもの特性に合わせてスペースを作っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			児童一人に対し専属で一人の指導員がそのこどもの特性に合わせて対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		教室内は段差が無くフラットな作りとなっており、トイレは車椅子の児童でも使用可能な作りとなっている。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>		PDCA サイクルとして明確に動いていない場合も多いので、広く職員同士意識できるように明文化していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			毎回のアンケートをもとにすぐに改善できるものと段階が必要なものとに分類化し、業務改善につなげていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者評価は現在行っていない。今後必要に応じて検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			会社の発達支援研究所が職員の資質向上のための初任者研修・定例研修を実施している。必要に応じて増やしていく。
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者様にアセスメントシートに記入してもらった後、聞き取りにてアセスメントを行い、こども一人一人の特性に合わせて体験・支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			統一されたアセスメントシートや NC プログラムでアセスメントを実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			児発管と担当指導員、他の指導員が参加しモニタリングを行い支援プログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			日々振り返り等で近々の状況を確認し、プログラムに活かしている。こどもの特性に合わせて敢えて固定する事もある。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日・休日関係なく45～50分療育、10～15分振り返りの1時間の支援の為、利用日によって大きく課題を変えることはなく、こどもの状況に応じて配慮している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育であるが、集団につながるためのSSTなども実施、こどもの状況に応じて不定期に行っている小集団のイベント（きらりひろば）SSTに参加してもらっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングや支援開始前に必要な連携の確認を行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼時のミーティングでその日の状況の確認、次の日の必要事項を確認している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の個別記録を取り、支援の検証・改善につなげている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の振り返りに加え、定期的にモニタリングで支援計画について見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			こどものニーズに合わせて複数組み合わせ支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			サービス担当者会議には児発管、必要に応じて担当指導員も参加できるようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			連携の情報共有は必要に応じて、また要望に応じて実施している。今後も家族や相談支援機関を通じて連携に努めていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			ハード面や時間設定から利用される方は現在いないが、利用される場合は医療機関との連携を取っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて実施している。今後も家族や相談支援機関と連携して実施していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて実施している。今後も家族や相談支援機関と連携して実施していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			連携もあり、実施できている。今後もこどもの状態に応じて家族や相談支援機関とうまく連携して実施し研修にも参加していく。

の 連 携	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	個別療育を行っている為、交流する機会がない。イベントの際等交流と理解を深め、一緒に行える方法があるか探っていく。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	必要に応じて、参加していきたい。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々の個別の振り返りの中で共通理解を持っている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		家族へのアドバイスや相談に乗ることは頻繁にあるが家族支援プログラムとして明確には行っていないため、今後勉強していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧に説明を行っている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の振り返りやモニタリング時、必要に応じて個別に時間を取り、保護者の相談に応じている。要望も多い。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親の会に参加やママカフェを実施しているが、不定期であり広く周知されていないため、定期的に機会を作っていく。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速に対応している。 また、苦情窓口を設けて対応している。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		1～2回/月にブログを更新し、活動概要や予定、避難訓練や必要と思われる周知事項について定期的に発信している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○		鍵のかかる書庫にて管理している。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的ツール等子ども一人一人の特性に合わせて活用している。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域の方が参加できるようなイベントは現在実施していないが(過去実施)、問い合わせがあればどなたでもイベントに参加可能。
非 常 時 等 の 対 応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを準備、いろいろな事案に対する訓練も月に1回行っている。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		非常災害に対する定期的な訓練を行っている。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		1年に1回以上研修を行っている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応し記録に残していく体制を整えている。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			支援中に食事をとることがない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの事例について自事業所の分はもちろん自社提携の事業所の情報も共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」金沢横川校 保護者等数（児童数） 34 回収数 14 割合 41 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	3	2	イベント時や夕方の混み合う時間帯において待合スペース等の検討を行っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	12	2		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	11	3		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	8	様々なご意見を頂きました中で必要に応じて検討していきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	4		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	5		ご要望に応じて今後も個別に対応させて頂きます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	7	3	様々なご意見を頂きました中で、要望の多いママカフェの回数増やその他の活動も検討していきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	7		苦情がある場合は教室外にも相談できる機関（相談員・行政機関等があることの紹介）を行っていきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	3		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	5		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	14			

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	7	毎月マニュアルに則り、避難・防災・防犯訓練を行っております。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3	教室に入って右側掲示物に予定を掲載している事の案内・周知徹底を行ってまいります。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2	今後もお子さまが楽しんで個別の支援・療育を行っていくよう更に研鑽に努めます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	12	2	お子さまの支援、相談、外部との連携を今後も行き、きめ細やかな対応をさせていただきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。